学校番号	４０７

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校　社会と情報　新訂版　【実教出版】						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

実習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている情報機器（コンピュータ等）に対して理解を深め、良い使い方とは何かを考えてください。

コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、座学や演習等を通して多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。

課題や提出物は授業や単元ごとに到達目標を示します。また、復習テスト・入力テスト・課題テストを実施しますので、毎回の授業を大切にし、遅刻欠席のないようにしてください。

２　学習の到達目標

情報社会の中で、被害者および加害者とならないように、基本的な情報モラルを身につける。また情報の特徴を理解して情報を適切に収集・処理・発信するとともに、コンピュータをコミュニケーションの道具として適切に活用し、情報社会に積極的に参画する。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに、情報モラルを踏まえて思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的･基本的な知識を身に付け､社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 授業プリント等の記述、提出物等 実習課題 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 授業プリント等の記述 実習課題や発表の内容 テストの結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習課題 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 授業プリント等の記述 復習テスト、課題テストの結果 自己評価・相互評価 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期前半	情報社会	○オリエンテーション ・学校情報ネットワークの利用 ○入力基礎 ○入力練習 ・ホームポジション ○情報社会 ・情報の特徴 ・個人情報の保護 ・メディアリテラシー ○文書作成	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ 	a: 情報社会やコンピュータの仕組みに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている b:学校情報ネットワーク使用について理解し、情報活用のための適切な判断ができる c:正確に入力ができる 目的に応じて文書作成ソフトウェアを適切に活用できる d:情報の特徴を理解し、情報社会の問題点を知識として身につけている	授業観察 実習課題 復習テスト 入力テスト 授業プリント
1学期後半	情報安全	○入力練習 ・ホームポジション ○情報モラル学習 ・情報セキュリティ ・プライバシー ・著作権 ○ポスター作成 ・情報モラルポスター	 ○ ○ ・情報モラルポスター	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:情報セキュリティに関心を持ち、情報モラルや法を踏まえて、主体的に行動しようとしている b: 情報モラルについて、思考を深め、適切に判断している 著作物を利用する際の配慮と問題行為を考え、判断できる c：目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている d: 知的財産権とは何か、情報を利用する際の注意点について理解している	授業観察 実習課題 実技テスト 復習テスト 入力テスト 授業プリント

2学期前半	ディジタル情報	○入力練習 ・文章入力 ○ディジタル情報 ・情報量 ・2進数・16進数 ○表計算ソフトウェア ・表の作成 ・関数・演算 ・グラフ	 ○ ○	 ○	○ ○	 ○ ○	a:ディジタル情報について関心を持ち、問題解決に積極的に取り組もうとしている b:問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用している c:表計算ソフトウェアを活用するための基礎・基本的な技能を身につけている d:効果的な表計算ソフトウェアの活用方法を理解している	授業観察 実習課題 実技テスト 授業プリント 復習テスト 入力テスト
2学期後半	ディジタル化	○入力練習 ・文章入力 ○ディジタル化 ・文字 ・音 ・色 ・画像・動画 ○プレゼンテーション ・情報収集 ・スライド作成 ・プレゼンテーション実習	 ○ ○	 ○	○ ○	 ○ ○	a:ディジタル化の仕組みを積極的に学び、実習の準備に意欲を示す b:目的に応じて、適切な表現を選択することができる c:効果的なスライドを作成し、活用することができる d:ディジタル化の仕組みを理解し、効果的なプレゼンテーションの方法を理解している	授業観察 実習課題 発表 実技テスト 授業プリント 復習テスト 入力テスト
3学期	コンピュータを使った情報発信	○入力練習 ・文章入力 ○Web プログラミング	 ○	 ○	○ ○	 ○	a:Webページ作成に向け積極的に取り組むことができる b: 効果的で、ユーザビリティも考慮した情報表現ができる c: タグの意味を理解して、情報を効果的に伝える Web ページを作成できる d: 著作権など、情報発信のための正しい知識があり、理解している	授業観察 実習課題 実技テスト 授業プリント 復習テスト 入力テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。